

平成28年度 中区地域力向上事業 事後評価

■助成事業

事業実施者	事業内容	総事業費 【補助額】 (円)	採用 回数	中区 らしさ A(高い) B(普通) C(低い)	事業目的 の達成度 A(高い) B(普通) C(低い)	財政支援 の必要性 A(高い) B(普通) C(低い)	費用対 効果 A(高い) B(普通) C(低い)	評価
1 2016はままつ初夏のジャズデイ 浜松ジャズ協会	街角での無料コンサートにより、ジャズの楽しさ、ライブの醍醐味を提供。「音楽のまち」づくりと街中のにぎわい創出に貢献するイベント。 【期間】5月15日 【場所】ソラモ、キタラ 【内容】浜松市内のジャズクラブ等に出演しているジャズグループがソラモ、キタラにて演奏を行い、街中のにぎわいを演出した。 【来場】約1,200人	386,547 [110,000]	1	A	A	B	A	○日中気軽にまちなかで上質なジャズを楽しむことができることで、ジャズ愛好家だけでなく、潜在的なジャズファンを会場へ迎え入れるイベントであった。 ○「音楽のまち浜松」として、市民の暮らしの質や豊かさを高めるものであった。また、来場見込人数を上回る来場があり、中心市街地の活性化が図られていた。 ○今後も、ジャズの魅力を伝えるイベントとして継続して開催することを期待する。
2 はままつハロウィンフェスティバル ハロフェス実行委員会	中心市街地の活性化を目的としたハロウィンのイベント 【期間】10月22日から10月31日まで 【場所】サザンクロス商店街／浜松駅北口キタラ 【内容】お化け屋敷(10/22～10/31 砂山町サザンクロス商店街)、サザンクロス商店街をハロウィン仕様に装飾、音楽ライブイベント(10/30 キタラ) ほか 【来場】9,447人	4,212,204 [1,120,000]	2	B	A	A	B	○浜松の若い力でハロウィンをテーマに浜松の魅力を発信するとともに、中心市街地の活性化に寄与するイベントとして企画され、今回はサザンクロス商店街を会場に加え、昨年(8,233人)を上回る来場があったことから目的は達成できたと認められる。 ○協力・協賛企業も昨年(135社)を上回る172社となるなど、全国規模のイベントを作りたいという強い気持ちが認められ、学生だけではなく、商店街や企業が一体となって盛り上げた点も評価できる。 ○全国的な盛り上がりを見せるハロウィンが、中区でも定着しますます盛り上がっていくことを期待する。
3 元城小学校閉校記念事業 元城小学校閉校記念事業検討会	元城小学校の閉校(H29.3月)記念事業 【期間】4月1日から3月31日まで 【内容】記念誌・校歌のDVDを作成し、学区内に各戸配布(3,000部)、閉校イベント(楽団・和太鼓・手筒花火等)の開催 ほか	5,526,760 [1,400,000]	1	A	A	B	B	○地域の中心であった元城小学校を記憶と記録に残し、世代を超えた交流の場を提供したイベントであった。記念誌、閉校イベントそれぞれに思いが込められ、目的が達成されている。 ○地域では、さまざまな場所でポスターが貼れており、地域全体の一体感が図られ、記念事業を通じて地域の結束が図られた。 ○今後も地域や人とのつながりを大切にする活動が継続されることを期待する。
4 富塚地区 市民の森と触れ合う会 特定非営利活動法人 地域創生支援事業団	認知症の高齢者との世代間交流事業 【期間】4月20日から12月19日まで 【場所】富塚地区 【内容】市民の森の清掃の後、笛掘りを行い、笛ご飯と笛汁を試食。秋にはどんぐりを拾い、どんぐりポット作り、森の竹を使った棒パン作りを行った。 【参加】88人	648,266 [280,000]	1	A	B	A	A	○富塚地区の市民の森等を散策・清掃するという体験を通じて身近にある自然の大切さを感じ、講演会では「木はどのようにして生まれて生きる」と題し、改めて考える時間の提供がなされた。 ○また、竹を使った棒パン作りやさつまいもをメインとした食事を通じて子どもから高齢者まで世代を超えた交流が図られた。 ○身近な場所での自然体験、地域交流が実施されており、地域の子もたちが心豊かに育つための活動を今後も提供していただきたい。
5 Hamamatsu Dining Japan Food Culture プロジェクト	主に中区のレストランのシェフによる、はままつ食材を使ったメニューをワンコイン(500円)で体験してもらいイベント 【期間】10月10日 【場所】Hachikai(万年橋パークビル8階) 【内容】中区を中心とした飲食店19店舗が出店し、地場産品を使ったメニューを通じ、浜松の特産のPR及び地産地消の促進 【来場】約400人	650,400 [100,000]	2	A	A	A	B	○地産地消という言葉は知っているものの、浜松地域での食材について知る機会は少ないため、このイベントでは、野菜生産者等に協力を募り、生産者(農家)・調理人(プロのシェフ)・消費者(大学生等)が運営面を支えて活躍する場所を提供すると共に、市民へ浜松地域の食材を再認識する機会を提供している。 ○提案者は、今回のイベントを通じて、開催時期の問題や目指すべき方向性など新たな課題を持たれており、食を通じた更なる情報発信と人とのつながりが期待される。 ○毎年好評を得ていることから、継続による広がりを期待したい。
6 浜松 ホタルも棲める良い自然プロジェクト ㈱フジヤマ ホタル自然プロジェクト	地元住民や元城小学校児童とともにホタルが棲める自然環境の構築及び環境教育 【期間】4月1日から2月20日まで 【場所】浜松城公園 【内容】浜松城公園内の水路を活用したビオトープ(生息空間)整備、ホタルの繁殖・放流会(信州大学・藤山名誉教授による支援・指導)、ホタルに関する講演会(藤山名誉教授) ほか	352,104 [140,000]	1	A	B	A	A	○地元の自然環境の構築に携わることで、自然への興味や地域への関心が高まり、ホタルを通じて皆に自慢できる地元をつくり出すイベントであった。 ○専門家の指導のもと、地元小学生、先生、PTA役員等の多くの地元の方が参加され関心の高さが伺え、今後の環境づくりの継続性が感じられる。 ○今の子どもたちが親になったとき、今回の放流を伝えられるよう、ホタルが育成する環境を継続して整えていく活動や現在地以外での開催など活動の広がりにも期待する。
7 ASIA MUSIC FESTIVAL 株式会社 はまぞう	インドネシア人、ベトナム人、タイ人との交流を目的とした音楽イベント 【期間】5月22日 【場所】ソラモ 【内容】インドネシア等から著名なアーティストを招いてのライブコンサート、在住外国人によるJ-POPカラオケ大会、各国のご当地グルメの出店 ほか 【来場】約15,000人	4,498,871 [1,000,000]	1	B	A	B	A	○ソラモでのライブコンサートと当日の天候にも恵まれ、目標(3,000人)を大幅に上回る入場者があり、中心市街地のにぎわいが創出された。 ○多くの在住外国人の来場があり、各国のグルメが提供されており、ソラモが国際色豊かな空間に演出されていた。 ○外国人アーティストによる演出の需要が、在住外国人にあることを再認識できるイベントであった。 ○Webによる告知のみで県外からも多くの集客があったことから、浜松を代表するイベントとなるようことを期待する。